

案件化調査 フィリピン共和国 スプレードライヤを利用したココナッツシュガーの生産量拡大 に向けた案件化調査

企業・サイト概要

- 提案企業：大川原化工機株式会社
- 提案企業所在地：神奈川県横浜市
- サイト・C/P機関：フィリピン国カガヤン・デ・オロ 貿易産業省

フィリピン国の開発課題

- フィリピンでは、国民の所得格差が大きく、とりわけミンダナオ島は、所得の少ない零細農家が多数居住している。
- 主要な農産品はココナッツなどであり、所得を増やすためにフィリピン政府は農産品の加工を奨励している。
- 増加し続けるココナッツシュガーのグローバル需要に応えるため、生産性を高める必要がある。

中小企業の技術・製品

- スプレードライヤとは、霧状にした液体に熱風を当てて乾燥させ、粉体製品を得る乾燥機の一つである。
- 他の乾燥機とは異なり、短時間で乾燥できるので熱ストレスが少ない、表面張力で丸くなった液滴を乾燥させるので丸い粒子ができる、粒子の大きさや形状の調節が容易にできる、連続運転ができるといった特徴がある。

調査で提案されているODA事業及び期待される効果

- ココナッツシュガーの生産にスプレードライヤを利用することにより、乾燥時間も数秒から数十秒と短時間なことからココナッツシュガーの変色を防ぐことができる。また、異物混入、変色による製品の廃棄率が下がることから歩留まりの向上も期待できる。
- スプレードライヤは連続運転が可能で、かつ大量生産にも対応できる。

日本の中小企業のビジネス展開

- スプレードライヤを利用することによって、上質のココナッツシュガーの輸出拡大と零細農家の所得向上が期待できることから、フィリピンでのスプレードライヤの市場開拓が促進される。

